



九州大学 GCOE「新炭素資源学」第一回 生活環境系国際シンポジウム 室内環境と健康・快適性予測に関する最新動向

室内空間にて九割以上の時間を過ごすといわれる現代社会において、建築により形成される室内空間の良否が QOL(Quality of Life)に与える影響は甚大です。室内環境性能は健康や快適性に影響を与えると共に、執務者・居住者の知的生産性にも大きな影響を与えることが示唆されており、適切な室内環境の創造が強く求められています。本シンポジウムは、室内環境設計と健康、快適性ならびにエネルギー予測に関する研究の最新成果を紹介し、国際的な技術・情報の交流を図ることによって、この分野のより一層の発展を願うものです。

日時：2009年6月27日(土) 13:00～17:00

場所：九州大学 筑紫キャンパス C-CUBE 3F 会議室

司会：熊谷一清 (九州大学 炭素資源国際教育研究センター)

13:00 – 13:10 挨拶ならびに趣旨説明
林 徹夫 (九州大学大学院 総合理工学研究院)

13:10 – 13:40 一般家庭における室内大気環境
馬 昌珍 (福岡女子大学 人間環境学研究科)

13:40 – 14:10 都市ヒートアイランド現象の対策に関する研究
Sangjin Kim (Jeonju University)

14:10 – 14:40 ライフサイクルエネルギーマネジメントのための CFD と空調システム
シミュレーションの連成
飯塚 悟 (名古屋大学大学院 環境学研究科)

14:40 – 15:10 集合住宅団地の屋外環境解析と改善に関する研究
Taeyeon Kim (Yonsei University)

15:10 – 15:30 休憩

15:30 – 16:00 Passive Environmental Control Methods for District and Building Scales on Taketomi Island
白石靖幸 (北九州市立大学 国際環境工学部)

16:00 – 16:30 Natural Ventilation with Traditional Korean Opening in Contemporary House
Jun-seok Park (Hanyang University)

16:30 – 17:00 室内環境中での帯電微粒子輸送とバイオエアロゾルとの二次反応
伊藤一秀 (九州大学大学院 総合理工学研究院)

17:00 – 17:10 閉会
林 徹夫 (九州大学大学院 総合理工学研究院)

連絡先：九州大学大学院 総合理工学研究院 エネルギー環境共生工学部門 伊藤一秀
816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1 TEL 092-583-7628 / FAX 092-583-7627 / Email ito@kyudai.jp